

第6次所沢市総合計画 前期基本計画 リーディングプロジェクト 【令和元年度の活動方針】

(5) 所沢ブランドの推進とまちの活性化 ～みどりと文化を伝える「所沢ブランド」の発信～

本市には、狭山湖や狭山丘陵に代表される都市近郊の豊かなみどりと、歴史の中で育まれてきた重松流祭囃子などの伝統文化や歴史的建造物、狭山茶・さといもなどの農産物、焼だんごや手打ちうどんといった食文化、「音楽のあるまちづくり」に代表されるモダンな市民文化など、市民が誇りに思う「所沢ブランド」が数多くあります。そして、まちの活性化を図るためには、こうした他市にも誇れる本市の魅力を十分に活かしていくことが必要です。

本市では、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催時期に合わせ、東所沢に新たな文化の拠点となる「ところざわサクラタウン」が開設するとともに、西武ドーム球場周辺のボールパーク化が計画されるなど、今後、国内外から多くの観光客が本市に訪れることが見込まれています。

国内はもとより、海外にまで本市の魅力を伝えることができるこうした機会を捉え、インバウンドに対応した多言語表示や通信環境整備といった基盤整備をはじめ、地元商店や地域における観光客受け入れに備えた取り組みなどを推進し、観光を軸とした魅力とにぎわいの創出のため、豊かなみどりと文化の魅力を伝える「所沢ブランド」を発信します。

《令和元年度の方針》

来る2020年(令和2年)は、「ところざわサクラタウン」の開設、東京オリンピック・パラリンピックの開催などがあり、また市制施行70周年でもあることから、観光を軸としたリーディングプロジェクトの活動としては、ここで大きく展開していく節目の年になります。令和元年度はそれに向けて次の方針により、広域的な連携を視野に入れながら事業を進めていきます。

(にぎわい拠点の創出)

2020年に開設予定の「ところざわサクラタウン」は所沢の新たな文化や観光の拠点となり、国内外から多くの観光客が来場する見込みであり、隣接地に(仮称)所沢市観光情報・物産館と駐車場等の整備を進めます。また中心市街地や商店街等の活性化や狭山丘陵の魅力の発掘・向上等を図ります。

(街の魅力の向上)

様々な観光資源を発掘・開発するとともに、狭山茶や地元農産物等をPRする「とことこ市」や「所沢ブランド特産品創出事業」など観光を軸とした新たな魅力を創出します。また市民文化フェア、ところざわまつり、所沢市民フェスティバル、所沢シティマラソン大会などの開催により、街の魅力アップとブランド化を推進します。また、東京オリンピック・パラリンピックに向けた取組として、イタリアチームとの交流やゴールボールのナショナルチームの支援等を進め、市域全体で大会の機運を醸成します。

(観光客の誘致)

狭山丘陵や所沢航空記念公園をはじめ、「ところざわサクラタウン」などの観光資源を生かし、多様なメディアを使った情報発信と、インバウンド対応で効果的な観光客誘致プロモーションを推進します。

(多彩な文化・芸術活動の推進)

市民文化センターのリニューアルに合わせ現代アートを中心とした所沢にゆかりのある作家の美術展を準備するとともに、豊かな音楽文化を発展させる「音楽のあるまちづくり」を市民とともに推進します。

(文化財の保護・活用)

郷土の文化遺産を保護するとともに、文化財の公開活用を図り市民への普及啓発を推進します。

《令和元年度 関連する取り組みの事業》

4-2-3 みどりと水の保全(「水とみどりがつくるネットワーク」の構築)

事業名：水とみどりがつくるネットワーク計画策定事業

4-2-3 みどりと水の保全(狭山湖周辺の魅力創出)

事業名：狭山湖周辺人道橋整備事業

6-2-1 所沢駅周辺のにぎわいのあるまちづくりの推進(所沢駅西口再開発・区画整理事業)

事業名：所沢駅西口まちづくり事業

7-4-3 未来(あす)を見つめたまちづくり(地域の魅力を都市ブランドとして発信)

事業名：ダイアプラン推進事業

7-4-3 未来(あす)を見つめたまちづくり(COOL JAPAN FOREST構想の推進)

事業名：COOL JAPAN FOREST構想事業

《SDGsへの貢献》

1. 貧困をなくそう

2. 飢餓をゼロに

3. すべての人に健康と福祉を

4. 質の高い教育をみんなに

5. ジェンダー平等を実現しよう

6. 安全な水とトイレを世界中に

7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに

8. 働きがいも経済成長も

9. 産業と技術革新の基盤を作ろう

10. 人や国の不平等をなくそう

11. 住み続けられるまちづくりを

12. つくる責任 つかう責任

13. 気候変動に具体的な対策を

14. 海の豊かさを守ろう

15. 陸の豊かさを守ろう

16. 平和と公平をすべての人に

17. パートナーシップで目標を達成しよう